

はじめに

本市においては、「ひとづくり・まなび・ゆめ」という教育理念のもと、平成22年度に、「幼児教育堺スタンダードカリキュラム」を作成し、幼児教育・保育施設における研修等により、本市が推進する幼児教育の取組について普及促進に努めてまいりました。

また、平成28年度には、文部科学省より3ヵ年の委託を受け、「幼児教育の推進体制構築事業」に取り組んでいるところです。

本事業では、経験豊かな公立幼稚園の元園長を「幼児教育アドバイザー」として任用し、公教育として培ってきた幼稚園教育の理念と実践を広く市内の幼児教育・保育施設及び教職員等に伝達し、本市全体の幼児教育の質の向上を図ると共に、幼児教育・保育施設と小学校との合同研修会を実施するなど、幼保小の連携にも重点を置いています。

そのような中、平成29年3月に、学習指導要領等の改訂案が示され、幼稚園教育要領において総則に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と共に、小学校の学習指導要領においても、子どもの学びの連続性を重視する「接続」という文言が明記されました。

このような国の動きに則し、文部科学省からの委託事業の一環として、就学前教育と小学校教育との円滑な接続の推進に重点を置き、文部科学省が示す「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を様々な遊びや体験を通して培うことにより、すべての幼児における教育水準を確保することを目的として、「幼児教育堺スタンダードカリキュラム」を改定しました。

改定に当たっては、大阪総合保育大学児童保育学部長の大方美香教授を始めとする大学教授等による有識者懇話会を設置し、高い専門的知見によるご意見ご指導のもとに、文部科学省中央教育審議会委員等を務められる白梅学園大学大学院の無藤隆特任教授のご助言もいただきながら、公民双方の幼稚園や認定こども園等の職員の連携・協力のもと、各園等において取り組む教育・保育活動を基に議論を重ねました。

本カリキュラムは、本市がめざす「堺のすべての幼児」を対象とした幼児教育のさらなる推進に資すると共に、各園等で活用いただくことにより、どの幼児教育・保育施設から就学した子どもも、小学校生活のスタートがより円滑に、より充実したものになると確信しております。

本カリキュラムが、幼児教育・保育に携わる皆様の指導の一助となり、本市の幼児教育が益々発展することを祈念いたします。

最後に、本改定に際し、多大なご協力をいただいた堺市私立幼稚園連合会並びにさかい民間教育保育施設連盟の皆様、心より感謝申し上げます。

堺市教育委員会 教育長 石井 雅彦

「幼児教育堺スタンダードカリキュラム」の意義と展望

このたび「幼児教育堺スタンダードカリキュラム」が改定されましたこと、まずは心よりお祝い申し上げます。改定にいたるワーキンググループ委員は、公立・民間問わず幼稚園・こども園・保育所から参画した教諭・保育教諭でした。また子ども青少年局や教育委員会が一体となり、何回もワーキングで議論を重ねつつ出来上がった内容です。2年越しの議論から出来上がった冊子には、堺市の子どもへの情熱や保育実践への具体化が盛り込まれています。日々の忙しい保育の時間の中で、さらに集まっては議論を重ねることがどれだけ大変な作業であったことでしょうか。改めて、ワーキンググループ委員の皆々様、そして事例を出して下さった現場の皆々様に感謝と敬意を表したく存じます。

先に作成されていました「幼児教育堺スタンダードカリキュラム」を原本とし、今回は幼稚園教育要領改訂、認定こども園教育・保育要領改訂、保育所保育指針改定を鑑み、白梅学園大学大学院特任教授無藤隆先生のご指導をいただきながら改定しています。超人的なお忙しさのなかでお時間をつくっていただき、ご助言いただけましたことは、どれほどの励みと根拠となったことでしょうか。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

このたび改定した「幼児教育堺スタンダードカリキュラム」は、堺市教育大綱(平成28年2月)の目標「すべての堺っ子が尊重され、ゆめ に挑戦できる教育」をめざし、第二期「未来をつくる堺教育プラン」に基づいて作成されました。教育理念は「ひとづくり・まなび・ゆめ」、それに対するめざす教育像は「めざす子ども像」・「めざす学校像」・「めざす教員像」として示されています。確かな学びや教育目標の実現は、「やらせ保育」や「到達目標」ではなく、日常の保育における観察における可視化とカリキュラム・マネジメントにあります。この冊子は、特に小学校との接続を意識して作成されていますが、幼児期の終わりまでに体験すべき保育内容の編成こそがカリキュラム・マネジメントです。偶然性や思いつき、経験や勘で保育をするのではなく、「何を育てる時期なのか」、「今この遊び(活動)では何が育っているのか」、「子どもは何をおもしろいと感じているのか」等といった視点や子ども理解に基づく環境構成や教師の役割や働きかけが必要です。

懇話会では、幼稚園、保育所の代表である園長先生と学識者が毎回熱く語り合い、より実践で役立つ冊子にという願いを込めて作成しました。また、幼稚園・こども園・保育所を問わずに活用できること、就学前の子どもの遊び(活動)では何を学び、育っているのかをわかりやすく示すことに努めました。是非とも現場の指導計画作成や保育内容編成で活用いただけますよう祈念しお祝いの言葉とさせていただきます。

幼児教育堺スタンダードカリキュラム懇話会委員長

大阪総合保育大学 大方美香